

# 御前崎市国民健康保険 第3期データヘルス計画及び 第4期特定健康診査等実施計画 (令和6年度～令和11年度)



## はじめに

### ▷ 両計画の位置づけ

「データヘルス計画」とは、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針（厚生労働省告示）に基づきデータ分析等により保健事業の実施内容やその目的・目標を定めたものです。

「特定健康診査等実施計画」とは、高齢者の医療の確保に関する法律第19条に基づき特定健康診査・特定保健指導の実施内容や目標を定めたものです。

令和5年度に両計画が最終年度を迎えることから、過去の取り組みの成果・課題を踏まえ、より効果的・効率的に保健事業を実施するために、「第3期データヘルス計画」と「第4期特定健康診査等実施計画」を一体的に策定します。

### ▷ 計画期間

令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

# 御前崎市国民健康保険 第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画 概要版(令和6年度～令和11年度)

## 人口構成

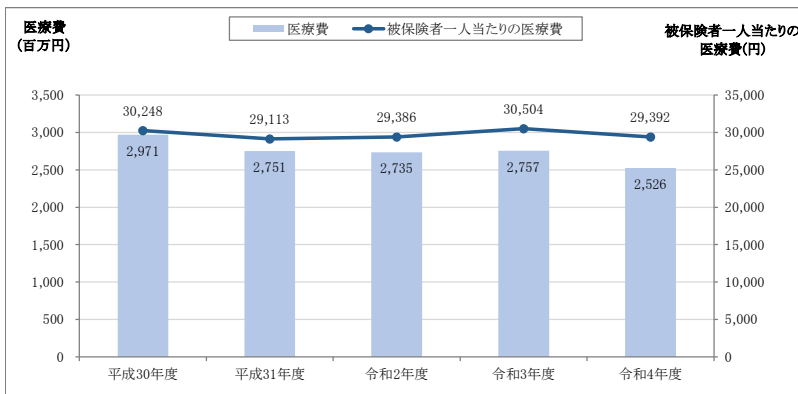
- 本市の令和4年度における国民健康保険の被保険者数は**6,893人**で、市の人口の**22.4%**を占めています。
- 国民健康保険の被保険者平均年齢は**55.6歳**です。
- 被保険者数は減少傾向にあり、**高齢化率(65歳以上)**は**増加傾向**にあります。

区分	人口総数(人)	高齢化率(65歳以上)	国保被保険者数(人)	国保加入率	国保被保険者平均年齢(歳)	出生率	死亡率
御前崎市	30,774	31.0%	6,893	22.4%	55.6	5.4	13.0
県	3,594,263	30.2%	721,527	20.1%	55.3	6.3	11.7
同規模	32,195	36.2%	7,214	22.4%	56.1	5.5	15.1
国	123,214,261	28.7%	24,660,500	20.0%	53.4	6.8	11.1

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## 医療費の基礎集計

- 令和4年度の医療費2,526百万円は平成30年度2,971百万円と比べて**15.0%減少**しており、被保険者一人当たりの医療費29,392円は平成30年度の30,248円より**2.8%減少**しています。



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」  
被保険者一人当たりの医療費…1か月分相当。

## 疾病別医療費

- 令和4年度の医療費を細小分類別にみると、医療費上位第1位は「**糖尿病**」で、**6.7%**を占めています。

順位	細小分類別疾患	医療費(円)	割合(%) ※
1	糖尿病	169,633,210	6.7%
2	慢性腎臓病(透析あり)	150,121,970	6.0%
3	関節疾患	141,009,480	5.6%
4	高血圧症	104,528,130	4.2%
5	統合失調症	84,336,060	3.4%
6	不整脈	73,452,720	2.9%
7	うつ病	54,631,670	2.2%
8	脂質異常症	54,572,750	2.2%
9	大腸がん	53,287,600	2.1%
10	肺がん	48,908,910	1.9%

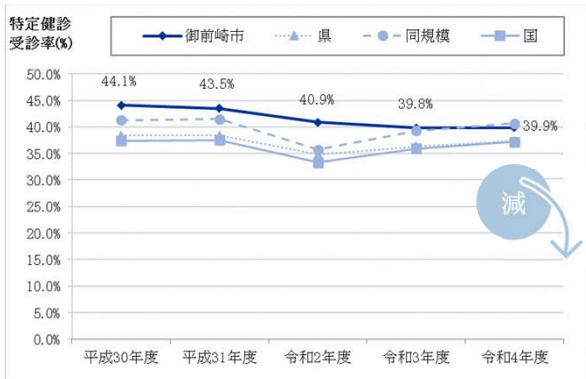
出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」  
※割合…総医療費に占める割合。

# 御前崎市国民健康保険 第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画 概要版(令和6年度～令和11年度)

## 特定健診・特定保健指導

### 特定健診受診率

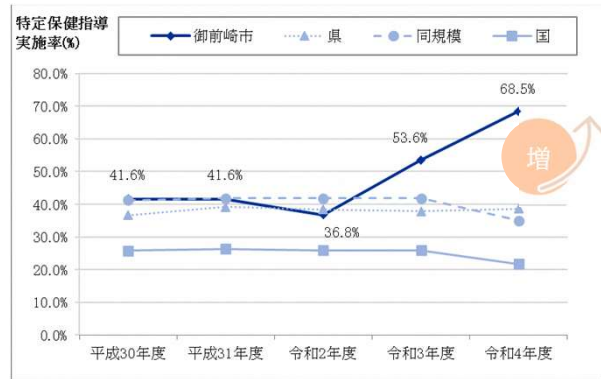
令和4年度の特定健康診査受診率39.9%は平成30年度より**4.2ポイント減少**しています。



出典：市・県＝法定報告値、同規模・国＝国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

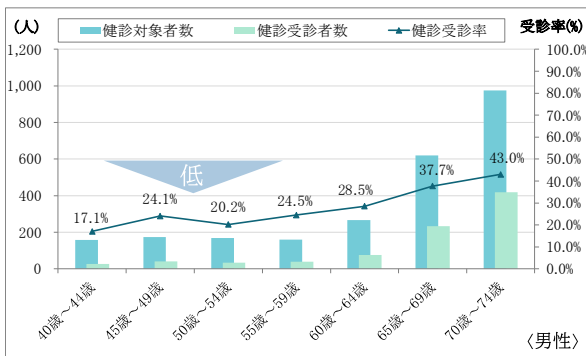
### 特定保健指導実施率

令和4年度の特定保健指導実施率68.5%は平成30年度41.6%より**26.9ポイント増加**しています。

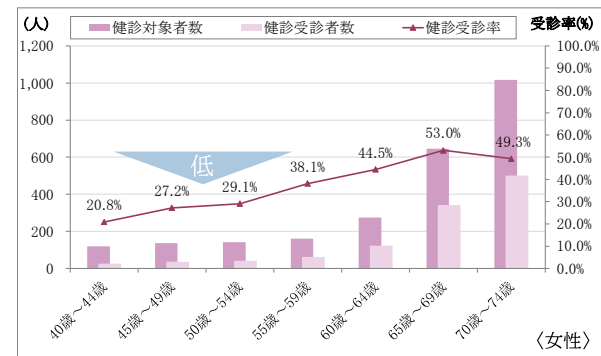


### 性・年齢別特定健診受診率

特に**40～50歳代の受診率が低く**、若い世代の受診率向上が今後の課題です。



出典：法定報告値



(令和4年度)

### 検査項目別有所見者の状況

(令和4年度)

区分		BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL	血糖	HbA1c	尿酸	
		25以上	男性85以上 女性90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	
御前崎市	40歳～64歳	人数(人)	130	152	106	87	21	120	282	38
		割合(%)	25.8%	30.2%	21.0%	17.3%	4.2%	23.8%	56.0%	7.5%
	65歳～74歳	人数(人)	337	440	277	168	62	480	1,074	120
		割合(%)	22.5%	29.4%	18.5%	11.2%	4.1%	32.0%	71.7%	8.0%
	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	467	592	383	255	83	600	1,356	158
		割合(%)	23.3%	29.6%	19.1%	12.7%	4.1%	30.0%	67.7%	7.9%
県		割合(%)	24.6%	32.5%	19.2%	12.8%	3.7%	22.4%	59.7%	7.5%
国		割合(%)	26.9%	34.9%	21.1%	14.0%	3.8%	24.9%	58.2%	6.6%

区分		収縮期血圧	拡張期血圧	LDL	クレアチニン	心電図	眼底検査	non-HDL	eGFR	
		130以上	85以上	120以上	1.3以上	所見あり	検査あり	150以上	60未満	
御前崎市	40歳～64歳	人数(人)	213	134	289	1	29	78	24	32
		割合(%)	42.3%	26.6%	57.3%	0.2%	5.8%	15.5%	4.8%	6.3%
	65歳～74歳	人数(人)	908	316	804	20	125	254	101	329
		割合(%)	60.6%	21.1%	53.7%	1.3%	8.3%	17.0%	6.7%	22.0%
	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	1,121	450	1,093	21	154	332	125	361
		割合(%)	56.0%	22.5%	54.6%	1.0%	7.7%	16.6%	6.2%	18.0%
県		割合(%)	49.5%	20.4%	50.0%	1.5%	22.7%	11.5%	9.8%	25.2%
国		割合(%)	48.3%	20.7%	50.1%	1.3%	21.4%	18.4%	5.2%	21.8%

出典：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

HbA1cの有所見者割合が最も高く、健診受診者の**67.7%**を占めています。

16検査項目中、HDL、血糖、HbA1c、尿酸、収縮期血圧、拡張期血圧、LDL、及び眼底検査は**静岡県より高く**、特に血糖、HbA1c、収縮期血圧は大きく差があるため、注意が必要です。

# 御前崎市国民健康保険 第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画 概要版(令和6年度～令和11年度)

## 保健事業の実施内容(第3期データヘルス計画)

事業名称	事業概要
特定健康診査 受診勧奨事業	特定健康診査を受けていない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
特定保健指導事業	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、訪問等で行う。
重症化予防 (受診勧奨)事業①	特定健康診査の結果、生活習慣病に関する異常値があるにもかかわらず、生活習慣病に関する病名で、病院の受診がみられない人に病院の受診を促す。
重症化予防 (受診勧奨)事業②	かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後受診を中断した人に、病院の受診を促す。
重症化予防 (保健指導)事業	【生活習慣病】 生活習慣病重症化を予防するために保健指導と該当者には受診勧奨を行う。 【糖尿病性腎症】 糖尿病性腎症の早期発見のために特定健康診査より、リスクのある者を選定、早期受診を促すとともに医療機関と連携して保健指導を実施。
ジェネリック医薬品 利用差額通知事業	ジェネリック医薬品に切り替えることによる薬剤費軽減額を通知する。

## 計画目標(第4期特定健康診査等実施計画)

特定健康診査の受診率が令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、受診率が下がり、未だ元の受診率まで戻っていないのが現状です。特定保健指導実施率は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により訪問指導や個別面談が遅れ、その分を令和3年度の保健指導に実施したことで実施率に変動がありました。令和4年度からは3か月支援に切り替え、指導対象者への結果通知方法の変更や健診当日の初回面接等、環境を整備したことで大幅に実施率が向上しています。

	実績値				計画策定時 令和4年度
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
特定健康診査受診率(%)	44.1%	43.5%	40.9%	39.8%	39.9%
特定保健指導実施率(%)	41.6%	41.6%	36.8%	53.6%	68.5%
特定保健指導対象者の減少率(%)※	22.2%	20.2%	24.3%	24.3%	20.5%

※特定保健指導対象者の減少率…平成20年度比。

アウトカム指標	計画策定時	目標値					
	2022 (R4)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)
特定健診受診率	39.9%	45.0%	48.0%	51.0%	54.0%	57.0%	60.0%
【中長期】 内臓脂肪症候群該当者割合	18.3%	17.9%	17.5%	17.1%	16.7%	16.3%	16.0%
【短期】 特定保健指導対象者の割合	9.3%	9.2%	9.2%	9.1%	9.1%	9.0%	9.0%
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少	20.5%	21.0%	22.0%	23.0%	24.0%	24.5%	25.0%
医療機関受診率	10.4%	12.0%	13.6%	15.2%	16.8%	18.4%	20.0%
健診異常値放置者割合の減少率	2.69%	2.6%	2.5%	2.4%	2.3%	2.2%	2.1%
医療機関受診率	44.4%	46.5%	48.5%	50.0%	51.5%	53.0%	55.0%
生活習慣病治療中断者割合の減少率	0.26%	0.25%	0.24%	0.23%	0.22%	0.21%	0.2%
【短期】 糖尿病性腎症重症化予防対象者の割合の減少	0.49%	0.45%	0.44%	0.43%	0.42%	0.41%	0.4%
【長期】 糖尿病による新規透析患者の減少	2人	1人	1人	1人	0人	0人	0人
使用割合の向上	86.5%	86.8%	87.1%	87.4%	87.6%	87.8%	88.0%

国では、市町村国保において、計画期間の最終年度である令和11年度までに特定健康診査受診率60.0%以上、特定保健指導実施率60.0%以上、特定保健指導対象者の減少率25.0%以上(平成20年度比)の達成を目標と定めています。本市においては各年度の目標値を以下のとおり設定します。

目標値						
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和11年度 (国基準)
45.0%	48.0%	51.0%	54.0%	57.0%	60.0%	60.0%
68.6%	68.6%	68.8%	68.8%	68.9%	69.0%	60.0%
21.0%	22.0%	23.0%	24.0%	24.5%	25.0%	25.0%